



ごあいさつ

JA Ochiimabari Disclosure



経営管理委員会会長
高野 公雄



代表理事理事長
田坂 寛

皆さまには平素からJAおちいまばりをご利用、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

本年も当JAの理念・方針及び財務状況をご理解いただけるようこの冊子を作成いたしました。今後とも安心してご利用いただくための、ご参考になれば幸いに存じます。

さて政府は6月の月例経済報告のなかで、「景気は、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。先行きについては、当面、雇用情勢が悪化するなかで、厳しい状況が続くとみられるものの、在庫調整圧力の一層の低下や経済対策の効果が景気を下支えることに加え、対外経済環境が改善することにより、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念される。加えて、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気をさらに下押しするリスクが存在することに留意する必要がある」としております。

食料安全保障については、国民の生命維持に関わる食料主権の問題であり、食料自給率や安全・安心な食料への関心はますます高まってきており、国民からはJAに対し、農業発展の中核的役割が期待されています。

金融情勢では、米国サブプライムローン問題を端緒とした世界的金融不安が、平成20年9月のリーマンショックを経てより深刻なものとなりました。わが国の金融環境は、ひところに比べて緊張感が後退しているものの、なお厳しい状態が続いており、平成21年度の日本経済は景気の低迷が続ぎ、回復は平成22年度以降へ持ち越される見込みといわれております。

このような情勢のなか、平成20年度は第4次中期計画と農業振興計画3か年の初年度であり、計画達成に向けての基礎固めと位置づけて積極的に取り組んで参りました。又、経営管理委員会においても、「経営管理委員会会議運営検討特別委員会」「営農販売事業強化に関する特別委員会」「金融店舗機能強化・再編に関する特別委員会」を設置し、実践に向けて具体策の検討を重ね、平成21年度の事業計画に反映させています。

コンプライアンス態勢につきましては、コンプライアンスに対する意識の高揚と不祥事ゼロ達成強化対策に基づく施策の実施等、役職員一丸となって再発防止に取り組んで参りましたが、誠に遺憾ながら不祥事が発生し、組合員及び地域利用者の皆さまに多大なご迷惑・ご心配をおかけしましたことを、心からお詫びするとともに、コンプライアンスに対する指導体制及び危機意識の甘さ、又、不祥事未然・再発防止策が周知徹底されていなかったと猛省しております。JAおちいまばりグループ役職員及び社員一同、徹底した不祥事未然防止・再発防止と業務執行体制の強化を図り、組合員はじめ利用者及び地域住民の皆さま方の信頼回復に向けて、全身全霊努力して参ります。

皆さまの深いご理解とご協力に感謝申し上げ、今後もJAグループ愛媛の基本方針である「農業を核とした地域づくりと個性輝くJAを目指して」のもと、安全・安心な農畜産物を提供するとともに、農業担い手支援を含む地域金融機関としての役割を發揮し経営改革の実現に努めて参ります。

皆さま方には更なる温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月
越智今治農業協同組合